

# 私立大学研究ブランディング事業

## 2016年度の進捗状況

学校法人番号	341008	学校法人名			
大学名	安田女子大学				
事業名	小学校での英語教育を実質化する教員養成・研修システムの研究開発と展開				
申請タイプ	タイプA	支援期間	5年	収容定員	4440人
参画組織	文学部(英語英米文学科)、教育学部(児童教育学科)、心理学部(心理学科)、家政学部(造形デザイン学科)、教職センター				
事業概要	<p>本事業では小学校英語の教科化を見据え、初等中等教育の教職学生と現職小中学校教員が共に本学と海外で研修を行い、量的・質的方法でその効果を検証することにより、学生の「教員養成モデル」と教員の「教員研修モデル」を開発する。これにより実践的な教員養成・研修への具体的な示唆を得ることができ、「教員養成の安田」としてのブランドを一層強固にし、広島の教員養成ならびに地域の教育活性化に貢献する私立大学を目指す。</p>				
①事業目的	<p>本事業の目的は、次期学習指導要領から実施される小学校での英語の教科化に対応できる教員の人材育成を小中連携の観点から行き、教員養成モデルならびに教員研修モデルを開発し、それらのモデルを地域において展開して実践することである。本事業の5ヵ年を以下の3つのステージに分けて目的を達成させる。</p> <p>I 研究ステージ(平成28年度～30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学児童教育学科と英語英米文学科ならびに現職小学校教員と現職中学校教員(英語)との本学での協働での学習の開始</li> <li>・ 研究対象グループを本学の海外提携校に派遣</li> <li>・ 協働での学習ならびに海外研修の効果の測定</li> </ul> <p>II 開発ステージ(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語力・指導力向上を最大にする「教員養成モデル」ならびに「教員研修モデル」の提示</li> </ul> <p>III 展開ステージ(平成32年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職課程を有する地域の他の私立大学と協働し、小中連携に基づいた教員研修を提供する</li> </ul>				
②28年度の実施目標及び実施計画	<p>(実施目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施体制の構築と確立</li> <li>・ 第1次事前研修の開始</li> </ul> <p>(実施計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WGの立ち上げならびに人的追加補充による体制の充実(主担:EC、庶務課)</li> <li>・ 調査対象項目と方法の調整(WG、心理学科)</li> <li>・ 広島市教育委員会と事業協力体制の確認(WG、教職センター、教職課)</li> <li>・ 海外提携大学と受け入れ態勢の調整(WG、国際交流委員会、国際交流支援課)</li> <li>・ 第1次対象学生の選定(WG、英語英米文学科、児童教育学科)</li> <li>・ 第1次対象現職教員の選定(WG、教職センター、教職課)</li> <li>・ 本学での英語教育提供環境の整備(WG、教務部、教務課、英語英米文学科)</li> <li>・ 第1次事前調査の実施(WG、心理学科、英語英米文学科、児童教育学科)</li> <li>・ 本学での第1次事前研修の実施(WG、教職センター、英語英米文学科、児童教育学科)</li> </ul> <p>(目標達成の測定方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EC(実施本部)への報告ならびに協議(ECとWG)</li> <li>・ 教師養成関係や英語教育関係の諸学会で事業紹介の発表(WG(教員))</li> <li>・ 本学内での教員対象の事業説明会での意見交換(WG)</li> <li>・ 教育委員会への定期的な報告と協議(WG、教職センター、教職課)</li> </ul>				
③28年度の事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童教育学科と英語英米文学科を中心としたWGを立ち上げ、計6回の会議を実施。</li> <li>・ 広島市教育委員会と会合を行い、事業協力体制を確認。</li> <li>・ 広島市における小学校英語教育の現状に関する広島市教育委員会へのヒアリングの実施。</li> <li>・ 本学での英語教育提供環境の整備へ向けた「没入型画像投影システム」の仕様の詳細決定。</li> <li>・ 調査対象項目原案の作成。</li> <li>・ 既存の海外研修プログラム(SEEC、ACLPL)参加学生への事前調査の実施。</li> <li>・ 既存の海外研修プログラム(SEEC、ACLPL)参加学生への事後調査の実施。</li> </ul>				

<p>④28年度の自己点検・評価及び外部評価の結果</p>	<p>(自己点検・評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施体制は、WGの立ち上げを中心として、広島市教育委員会との事業協力体制を構築し、現状についてのヒアリングや今後の連携についての打ち合わせを行うなど、本事業実施における基本的体制を整えた。</li> <li>・第1次事前研修は、第1次研修の派遣を平成29年夏から平成30年夏へと1年時期を変更したことから、実施されなかった。しかし当初事前研修を行う予定であった平成29年2月には、本学の海外研修プログラムである児童教育学科海外教育語学研修(SEEC)とアメリカ文化語学演習(ACLP)に参加する学生を対象に事前調査と事後調査を行い、既存の海外研修プログラムにおける学生の語学力や言語不安等の変化について、第1次研修派遣との比較可能なデータを収集した。</li> <li>・第1次事前研修は平成30年度の派遣にあわせて実施することを前提に、対象現職教員の選定方法と依頼時期について広島市教育委員会と確認を行った。</li> </ul> <p>以上のことから、平成28年度は実施目標すべてを満たしてはいないものの、本事業の実施において必要な事項は満たしていると判断する。</p>
<p>⑤28年度の補助金の使用状況</p>	<p>225,314円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※平成29年度実施プログラム準備費</li> <li>※平成29年度に設備購入予定</li> </ul>